

主要施策の展開方向

今こそ始めよう！ 未来の兵庫の水田農業を明るく元気にするためのチャレンジ

生産力の向上

行政担当者がこれまで以上に地域に入り、合意形成に向けた話し合いをサポートし、中心的担い手への農地の集積・集団化の取組を支援していきます。

人・農地プラン	農地集積・集団化や補助事業の実施など様々な機会に集落等へ働きかけ、 人・農地プランの作成を加速化 します。
農地集積・集団化	「農地中間管理機構」 自らが集落等へ働きかけ、地域の合意を図りながら、担い手への農地の集積・集団化を進めます。
担い手への支援重点化	米の生産数量目標の傾斜配分 の実施や 担い手加算 等の産地交付金を設定するなど担い手への支援を重点化します。

水田のフル活用

酒造メーカーや食品事業者等が数多く立地する強みを生かし、加工用米や飼料用米、麦、大豆、野菜栽培等を拡大させ、水田をフル活用できるように支援していきます。

水田フル活用ビジョン	地域に適した作物振興の設計図となる「 水田フル活用ビジョン 」を県及び地域段階で定め、 水田を最大限活用 していきます。
産地交付金	地域毎の様々な支援に加えて、県段階においても 加工用米、野菜の取組を支援する産地交付金 を設定します。
条件不利地	鳥獣害対策や農地のまちなおし、排水対策など 条件不利の改善 により、農業者の生産意欲向上を図ります。

競争力の向上

産地間競争に打ち勝つ低コスト化・高品質化等生産技術を産地へ普及し、消費者・実需者が求める新たな品種導入も進めていきます。

低コスト化	経営規模の拡大とともに、 直播栽培など低コスト栽培技術の導入 を進め、全国トップクラスの生産コストをめざします。
高品質米	新たな品種の導入や良食味米生産技術を普及し、米の食味ランキングで 「特A」 が取得できる 高品質な米の生産を拡大 します。
品種導入	生産者、実需者、JA、行政等の関係者が一体となって取り組む仕組みを構築し、 適切な品種の選定・導入 を進めます。

結びつきの強化

プロダクトアウトからマーケットインへの発想転換を浸透させ、産地と消費者・実需者との結びつきを強化する取組を進めていきます。

給食用米	「学校給食の県産県消推進協議会」 を各地域に設立し、学校給食食材全般にわたる県産県消を進めていきます。
マッチング	農業者が実需者等と連携活動を進めるための受け皿 を県が設置・運営していきます。
契約生産	「食」・「農」・他産業との連携や 商品開発等に関する新たなネットワークを構築 し、新たな販路確保や契約生産を進めます。

情報提供

伝える相手に応じた情報内容や情報提供のあり方を常に考えながら、経営判断に必要な情報を正確かつタイムリーに発信していくために、生産現場と行政・普及・JA等が日々情報交換を重ねることで地域の課題解決を進めていきます。